

## 令和2年度 若年性認知症総合支援センター相談等実績

\* 東京都若年性認知症総合支援センター（NPO法人いきいき福祉ネットワークセンターに運営委託）を「目黒」、東京都多摩若年性認知症総合支援センター（社会福祉法人マザアスに運営委託）を「多摩」と表記。

\* 目黒センターは平成 24 年 5 月に開設。多摩センターは平成 28 年 11 月に開設。

### 1 相談体制

若年性認知症支援コーディネーターの配置数は、目黒・多摩それぞれ 3 名。

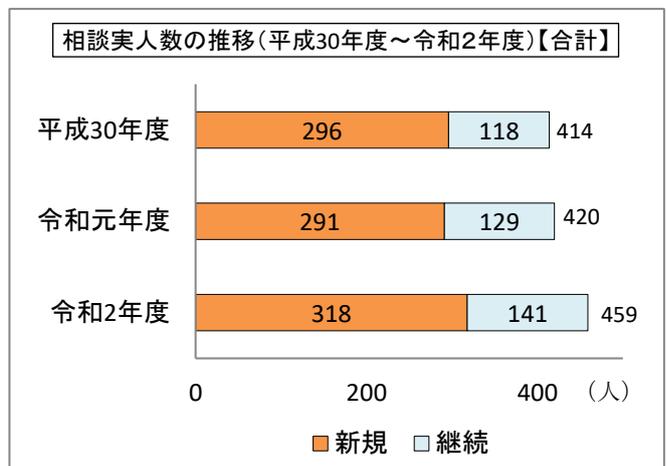
### 2 相談実人数・相談延件数

令和 2 年度の相談実人数（※ 1）は、目黒が 306 人（うち新規 227 人）、多摩が 153 人（うち新規 91 人）であった。相談延件数（※ 2）は、目黒が 2,014 件、多摩が 2,486 件、合計 4,500 件であった。

※ 1 相談実人数：相談の対象になっている若年性認知症の人（以下「相談対象者」という。）の人数

※ 2 相談延件数：相談を受けた延件数

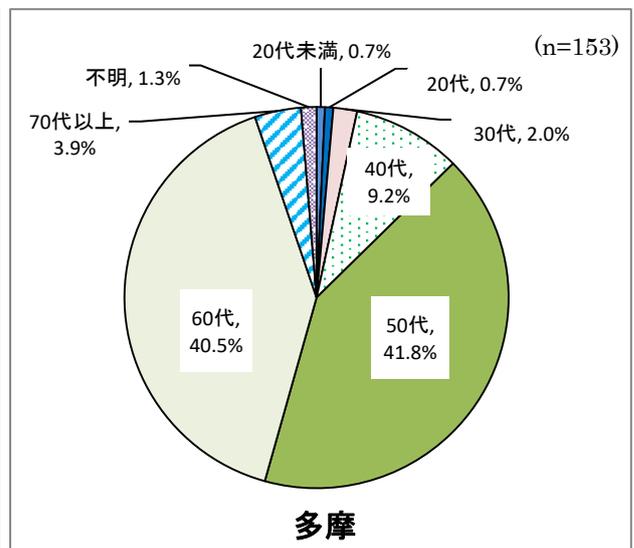
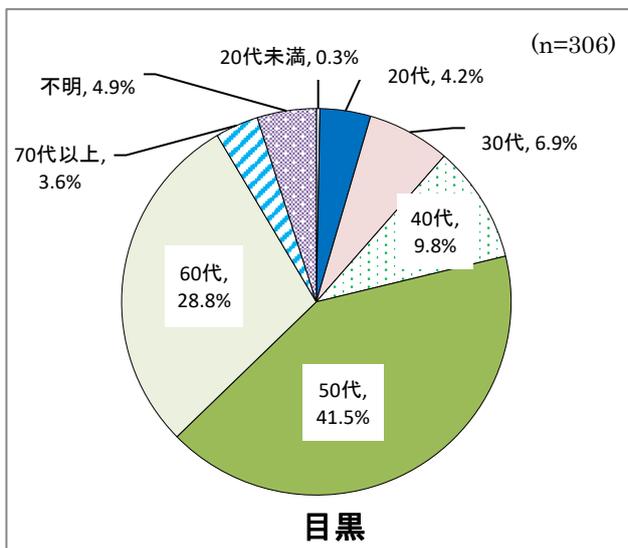
	相談実人数（人）			相談延件数（件）
	新規	継続		
目黒	227	79	2,014	
多摩	91	62	2,486	
計	318	141	4,500	



### 3 相談対象者・相談者

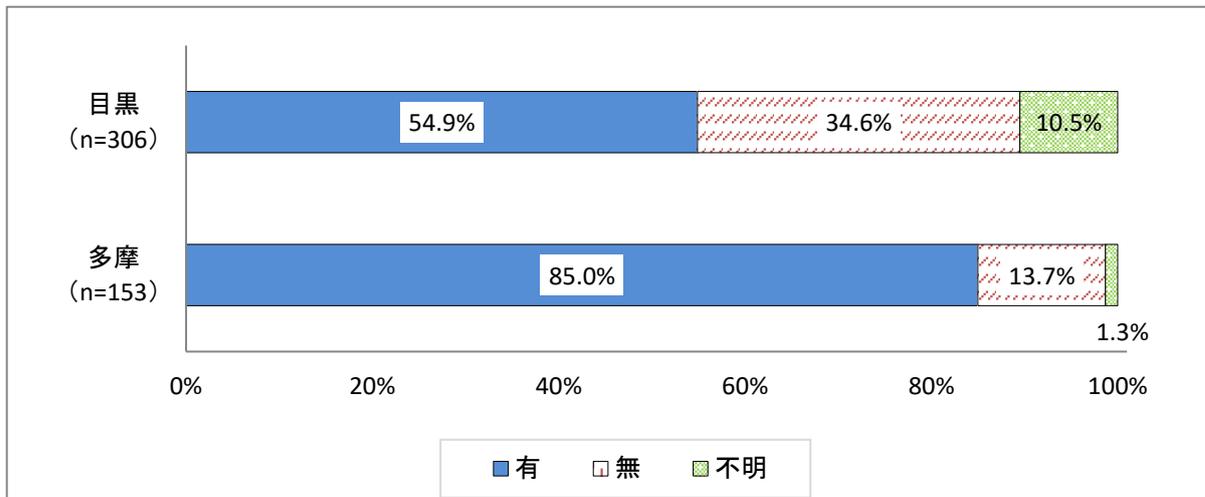
#### (1) 相談対象者の年代

目黒・多摩ともに 50 代・60 代が多く、全体の約 7 割から 8 割を占めている。



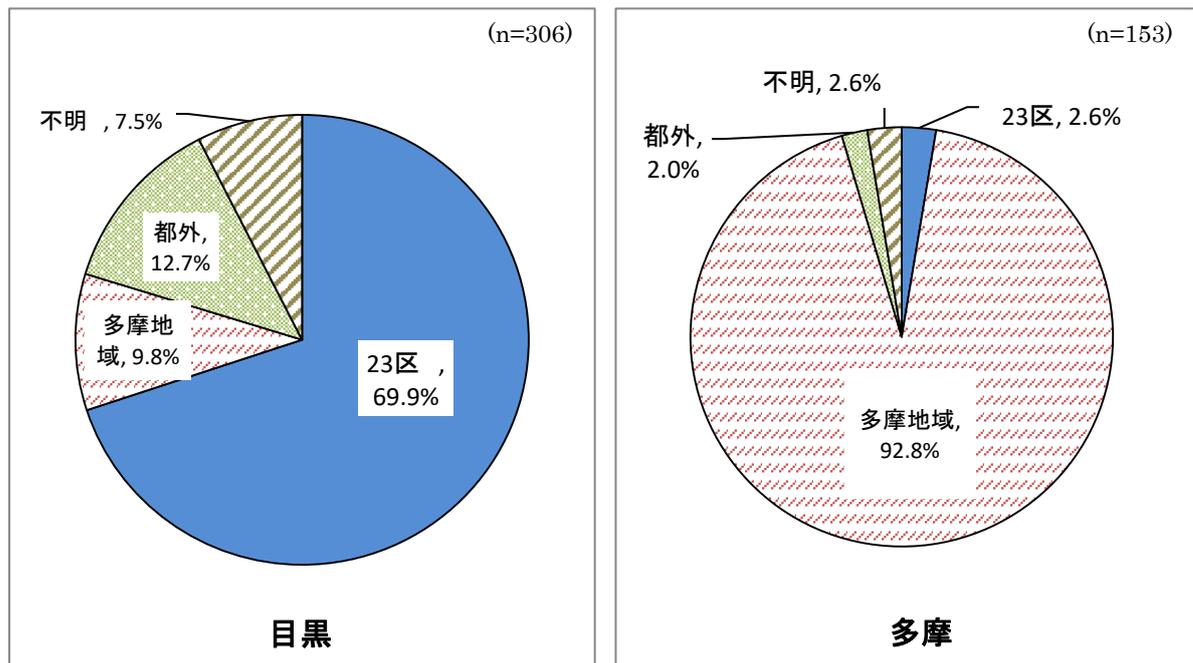
## (2) 相談対象者の診断有無

認知症の診断について、診断を受けている人は、目黒では約5割、多摩では約9割であった。



## (3) 相談対象者の居住地

都内居住者のうち、目黒の相談対象者は約7割が23区居住、多摩の相談者は約9割が多摩地域居住であった。

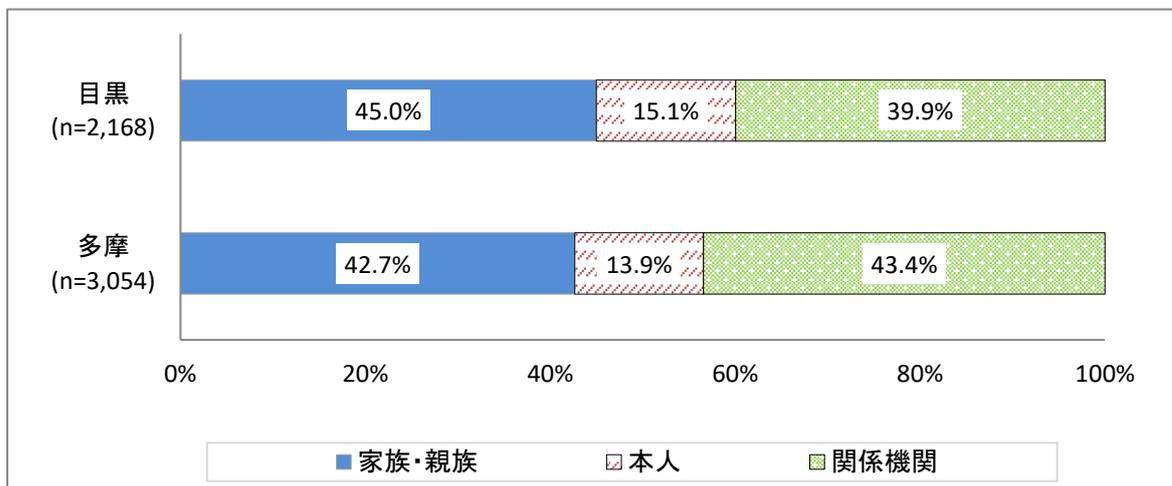


#### (4) 相談者の内訳

目黒は、家族・親族からが最も多く約5割を占めており、次いで関係機関が約4割であった。

多摩は、関係機関に次いで家族・親族が多く、それぞれ約4割であった。

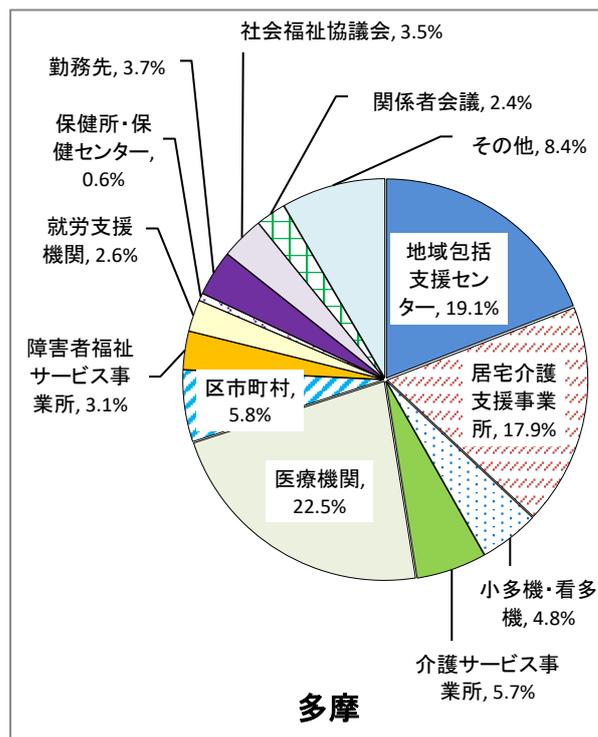
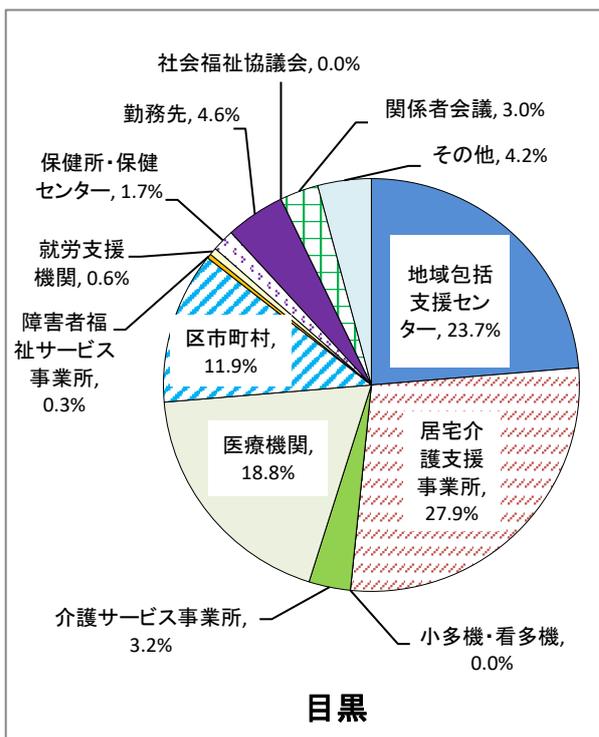
※ カウント方法が異なるため、相談者の内訳総数はp.1の「相談延件数」とは一致しない。(同一日に同一相談対象者について、属性の異なる者から相談があった場合、「相談延件数」は1件とカウントするが、相談者の内訳別件数はそれぞれカウントしている。)



#### <関係機関の内訳>

目黒では、居宅介護支援事業所が27.9%と最も多く、次いで、地域包括支援センター23.7%、医療機関18.8%の順であった。

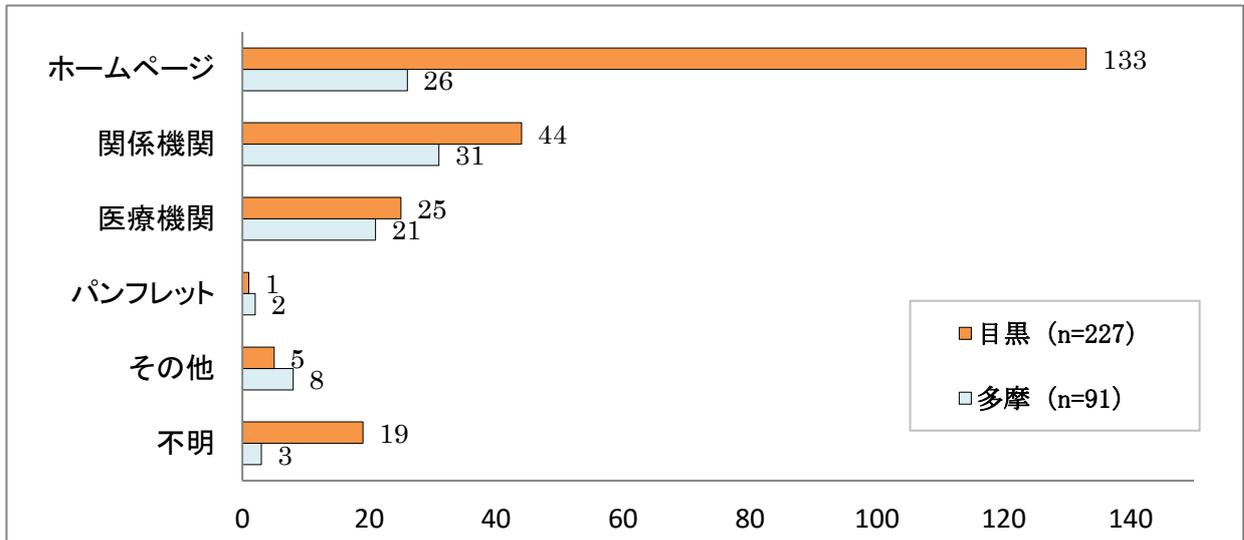
多摩では、医療機関が22.5%と最も多く、次いで地域包括支援センターが19.1%、居宅介護支援事業所17.9%の順であった。



#### 4 相談につながった媒体

目黒の新規相談対象者について、相談につながった媒体は、各センターや東京都のホームページが最も多く、次いで関係機関の順であった。

多摩の新規相談対象者について、相談につながった媒体は、関係機関が最も多く、次いで、各センターや東京都のホームページであった。



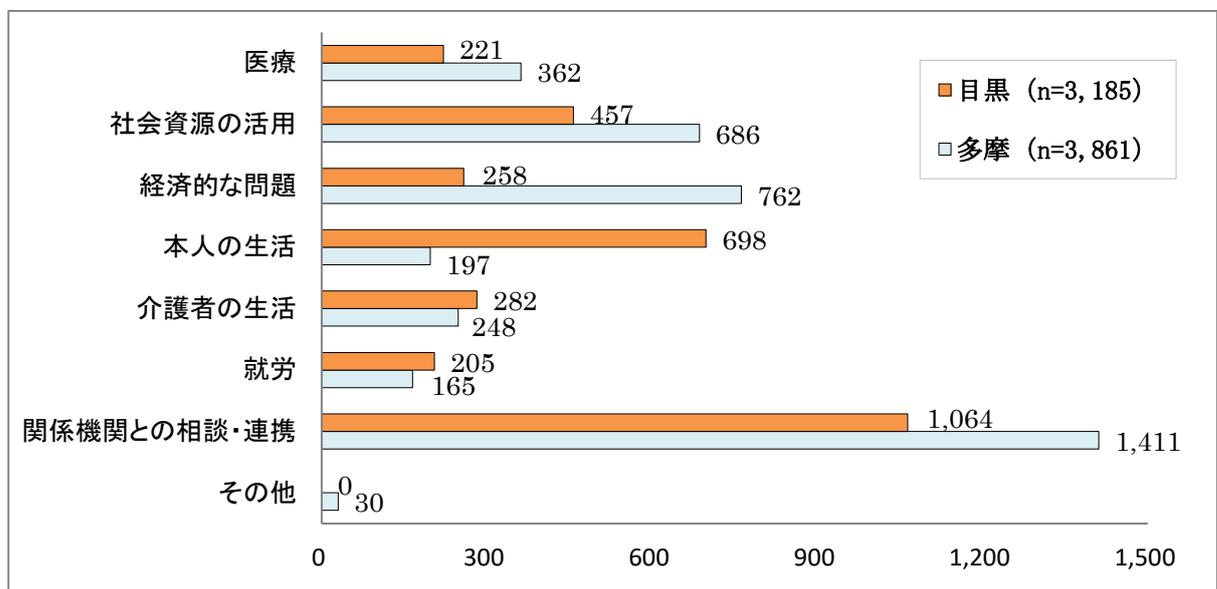
#### 5 相談・支援の内容

##### (1) 相談内容の内訳

目黒では、「関係機関との相談・連携」に関する相談内容が 1,064 件と最も多く、次いで「本人の生活」に関する相談 698 件、「社会資源の活用」に関する相談 457 件の順であった。

多摩では、「関係機関との相談・連携」に関する相談内容が 1,411 件と最も多く、次いで「経済的な問題」に関する相談内容が 762 件、「社会資源の活用」に関する相談 686 件の順であった。

※ カウント方法が異なるため、相談者の内訳総数は p.1 の「相談延件数」とは一致しない。(同一日に同一相談対象者について、複数の内容の相談があった場合、「相談延件数」は 1 件とカウントするが、相談内容の内訳別件数は相談内容ごとにカウントしている。)



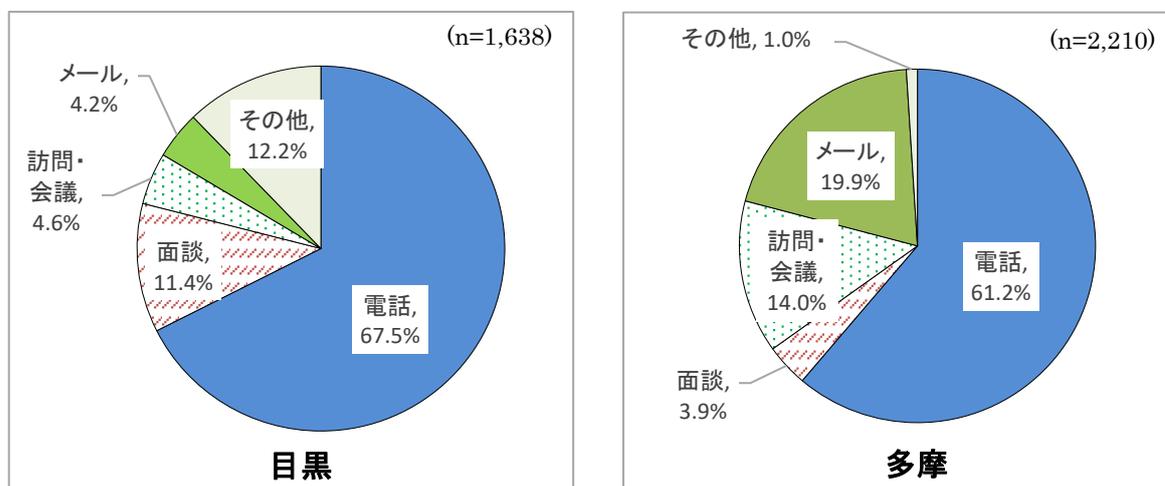
## (2) 支援方法の内訳

目黒では相談対象者の約3割に対して、多摩では相談対象者の約8割に対して、訪問・面談・会議等によるマネジメント支援を行い、必要な社会資源を導入するためのコーディネートを行った。

	マネジメント支援	情報提供
目黒	91人 (29.7%)	215人 (70.3%)
多摩	125人 (81.7%)	28人 (18.3%)
計	216人 (47.1%)	243人 (52.9%)

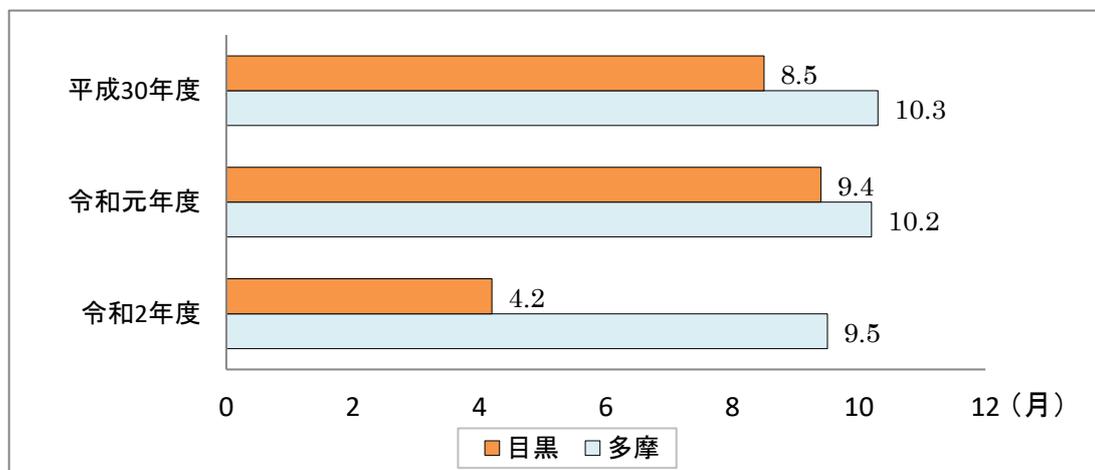
## (3) マネジメント支援の方法

マネジメント支援の対象者について、マネジメント支援の方法は、いずれも電話によるものが最も多く、約6割から7割であった。



## (4) 帰結までの期間

マネジメント支援の対象者について、平均帰結期間は目黒が4.2か月（対前年△5.2か月）、多摩が9.5か月（対前年△0.7か月）であった。



## 6 その他の取組

### (1) 目黒

#### ア 相談支援研修の実施

区市町村職員、地域包括支援センター職員を対象に研修を実施

- ・年1回、オンライン形式（YouTubeによる講義配信と課題提出）  
前編：令和3年1月13日から2月5日まで配信（受講者223名）  
後編：令和3年2月10日から3月5日まで配信（受講者192名）

#### イ ピアサポーターによる本人支援の実施（試行）

- ・全体講習会：令和2年10月23日実施（参加者8名）
- ・相談支援：令和2年11月27日実施（参加者4名）

#### ウ 東京都、区市町村等が実施する研修等への講師派遣

- ・東京都認知症介護実践者研修
- ・若年性認知症支援コーディネーター研修 他（計8回）

### (2) 多摩

#### ア 相談支援研修の実施

区市町村職員、地域包括支援センター職員を対象に研修を実施

- ・年1回、令和2年11月26日実施（集合形式、受講者25名）

#### イ ピアサポーターによる本人支援の実施（試行）

- ・全体講習会、相談支援：令和2年12月7日実施（参加者6名）

#### ウ 東京都、区市町村等が実施する研修等への講師派遣

- ・東京都認知症介護実践者研修
- ・介護支援専門員向け講演会 他（計14回）

#### エ 若年性認知症の人の受入先整備に向けた講座の開催

- ・年1回、令和2年12月7日実施（集合形式、参加者16名）